

中国東北地域における都市商業銀行の現状と課題

西南学院大学商学部教授 西田顕生

I はじめに

中国は2010年に経済規模で日本を抜き、米国に次ぐ世界第2位の経済大国となった。しかし、都市部と農村部との経済格差、資源の過剰消費と環境制約の高まり、近づく人口ボーナスの終焉など、中国経済を取り巻く環境は厳しさを増しており、農村部の低廉な労働力を活用した輸出型製造業主導の経済成長は限界を迎えつつある。今後、中国がバランスのとれた経済成長を実現するためには、内需主導型の経済構造に転換していくことが不可欠となっており、この転換を金融面から支援するために、地域に根差した金融機関を育成し、地域内での資金の循環を強めることが重要である。

そこで本稿では、中国の地域型金融機関の一業態である都市商業銀行の現状と課題を、東北地域（遼寧省・吉林省・黒龍江省の3省）を対象に探ることとする¹。以下Ⅱでは、東北地域の銀行部門における都市商業銀行の位置づけを確認するとともに、各銀行の概要を説明する。Ⅲでは、東北地域の都市商業銀行の実態を株主・出資先と貸出金の状況から明らかにする。Ⅳでは、2012年度の決算データを用いて、各都市商業銀行の収益状況を分析する。そしてⅤでは、Ⅳまでの検討の結果から東北地域の都市商業銀行の経営課題を抽出し、まとめとしたい。

Ⅱ 東北地域の都市商業銀行

Ⅱ-1 東北地域における都市商業銀行の位置づけ

2012年末現在、東北地域の銀行部門は大型商業銀行、政策性銀行、株式制商業銀行、都市商業銀行、小型農村金融機関、郵政貯蓄銀行、外資銀行、新型農村金融機関（村鎮銀行等）および非銀行金融機関（財務公司、信託公司等）から構成されており、中国銀行業監督管理委員会（銀監委）の監督下にある。

大型商業銀行とは工商銀、農業銀、中国銀、建設銀の4大国有商業銀行に交通銀を加えた5大銀行を指す。これらの銀行では経営の効率化が進む中、東部沿海地域への資産配分のシフトが生じており、東北地域でのプレゼンスは低下傾向にある。しかし、5大銀行の域内資産は2012年末でも域内銀行資産全体の4割近くを占めており、域内ではガリバー的存在であることに変わりはない。政策性銀行とは

政策金融機関である輸出入銀と農業発展銀に、民営化が予定されている国家開発銀を加えた3銀行のことである。2007年の「東北地区振興計画」に基づく重点プロジェクトが実施されてきた東北地域では、国家主導で各種インフラの整備が進んでおり、これらに資金供給を行う政策性銀行3行のシェアは域内銀行資産の1割を上回る。株式制商業銀行は北京や上海、深圳などの拠点都市に設立され、全国的に業務を展開する商業銀行であり、中信銀、光大銀、華夏銀等の12行がこれに該当する。これら12行のうち東北地域に本店を置く銀行は存在しないが、「東北振興」の進展に伴い各行とも域内主要都市での事業展開を強化しており、株式制商業銀行の域内シェアは2008年末から2012年末にかけて大きく上昇している。

本稿の対象である都市商業銀行は、1990年代後半以降、日本の信用金庫や信用組合に相当する都市信用社の再編に伴って設立された商業銀行である。全国で業務展開を行う上記3業態とは異なり、都市商業銀行の多くは特定の地域を営業地盤としており、再編過程における不良債権処理を地方政府の支援のもとで行ったという歴史的な経緯から、営業エリアの地方政府との結び付きも強い。都市商業銀行への再編に伴い、都市部の中小企業向け・個人向け金融で大きな役割を果たしてきた都市信用社は激減しており、東北地域では2010年中に姿を消した。その一方で農村部の金融では、同じ協同組織形態の農村信用社に代表される小型農村金融機関が大きな役割を果たしている。ただし、東北地域では吉林省を除けばその影響力は限定的であり、店舗数では大型商業銀行に次ぐ規模を誇るにもかかわらず、2012年末の域内資産シェアは1割に過ぎない。

2008年末から2012年末にかけて東北地域で大きく成長したのは、都市信用社の再編と大型商業銀行のリストラの受け皿となった都市商業銀行であった。3省合算ベースで見ると、都市商業銀行の成長は株式制商業銀行を大きく上回り、遼寧省と黒龍江省では2012年末の資産シェアが2割を超えた。その結果、両省の銀行市場では都市商業銀行が大型商業銀行に次ぐ地位を獲得している。これに対して、全国では都市商業銀行の資産シェアは1割に満たず、株式制商業銀行のシェアを大きく下回っている。したがって、東

¹ 本稿は拙稿（西田顕生「中国東北地域の金融機関経営の現状と課題」、西南学院大学アジア平和研究会編『東アジアにおける平和の構築—中国東北地域の改革開放と経済・社会・思想の変容—』2013年3月）のデータを更新・追加するとともに、その内容を大幅に改めたものである。

表1 東北地域における銀行資産の業態別構成

| | 東北3省 | | | | | | | | 全国 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|---------|-----------|
| | 遼寧省 | | 吉林省 | | 黒龍江省 | | | | | |
| | 08/12 | 12/12 | 08/12 | 12/12 | 08/12 | 12/12 | 08/12 | 12/12 | 08/12 | 12/12 |
| 大型商業銀行 | 19,534 | 33,192 | 9,595 | 16,895 | 3,936 | 6,932 | 6,003 | 9,365 | 325,751 | 600,401 |
| 政策性銀行 | 5,809 | 10,324 | 2,467 | 4,691 | 1,824 | 2,448 | 1,518 | 3,185 | 56,454 | 112,174 |
| 株式制商業銀行 | 4,835 | 12,645 | 3,929 | 8,564 | 263 | 2,339 | 643 | 1,742 | 88,337 | 235,271 |
| 都市商業銀行 | 5,487 | 16,528 | 3,721 | 9,788 | 841 | 2,011 | 925 | 4,729 | 41,320 | 123,469 |
| 小型農村金融機関 | 4,261 | 9,219 | 1,899 | 3,730 | 1,229 | 3,090 | 1,133 | 2,399 | 71,437 | 155,121 |
| その他 | 3,414 | 6,979 | 1,712 | 3,219 | 650 | 1,678 | 1,052 | 2,081 | 48,216 | 109,788 |
| 合計 | 43,340 | 88,887 | 23,323 | 46,887 | 8,743 | 18,498 | 11,274 | 23,502 | 631,515 | 1,336,224 |
| 大型商業銀行 | 45.1 | 37.3 | 41.1 | 36.0 | 45.0 | 37.5 | 53.2 | 39.8 | 51.6 | 44.9 |
| 政策性銀行 | 13.4 | 11.6 | 10.6 | 10.0 | 20.9 | 13.2 | 13.5 | 13.6 | 8.9 | 8.4 |
| 株式制商業銀行 | 11.2 | 14.2 | 16.8 | 18.3 | 3.0 | 12.6 | 5.7 | 7.4 | 14.0 | 17.6 |
| 都市商業銀行 | 12.7 | 18.6 | 16.0 | 20.9 | 9.6 | 10.9 | 8.2 | 20.1 | 6.5 | 9.2 |
| 小型農村金融機関 | 9.8 | 10.4 | 8.1 | 8.0 | 14.1 | 16.7 | 10.0 | 10.2 | 11.3 | 11.6 |
| その他 | 7.9 | 7.9 | 7.3 | 6.9 | 7.4 | 9.1 | 9.3 | 8.9 | 7.6 | 8.2 |
| 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

(注) 単位は億元、%。08/12の大型商業銀行は4大国有商業銀行、12/12は4大国有商業銀行に交通銀行を加えた5行。

12/12の株式制商業銀行には交通銀行を含まず。小型農村金融機関は農村信用社、農村合作銀行、農村商業銀行の合計。

その他は都市信用社、財務公司、信託公司、郵政貯蓄銀行、外資銀行、新型農村金融機関、その他の合計。

(出所) 中国人民銀行『区域金融運行報告』(2008年版、2012年版)、中国銀行業監督管理委員会『中国銀行業監督管理委員会2012年報』より作成

北地域の銀行部門では、都市商業銀行の存在は非常に大きいといえよう(表1)。

II-2 東北地域の都市商業銀行の概要

2012年末現在、東北地域には都市商業銀行が18行存在している。遼寧省には瀋陽市をはじめ、14の地級市全てに都市商業銀行が存在しているが、吉林省では長春市に1行、黒龍江省でも哈爾濱市(ハルビン市)に2行のみとなっており、これら2省では業態内での集約化が進んでいる。東北地域の都市商業銀行の多くも、不良債権問題に苦しむ都市信用社の再編の受け皿として、地方政府の肝いりで設立されたものである。各行とも設立の時期は概ね1996年から1997年となっているが、本溪市商業銀行や鉄嶺銀のように、2000年代の半ば以降に都市信用社から転換したものもある。また吉林銀や龍江銀のように、省内での都市商業銀行の再編の結果、2000年代後半に新たに設立された事例もある。

もともと都市商業銀行の銀行名は、盤錦市商業銀行のように都市名プラス商業銀行であったが、近年は後述する店舗展開の広域化に伴って名称変更する銀行が増えており、現在では域内18行中15行が、大連銀のように都市名(または

省名・地域名)プラス銀行を銀行名としている。域内の都市商業銀行はすべて非上場銀行であり、財務データの入手が困難な銀行も多い。本稿が対象とする2008年度から2012年度までの5年間の財務データを入手出来たのは9行である。その他6行については一部のデータが欠落しており、残りの2行についてはデータを入手できなかった²。それゆえ、データの欠落に伴う分析の限界が存在することを予め断っておきたい。以下では、直近の決算期である2012年度の財務データを入手できた12行について検討を進める。

2012年末時点の域内12行の資産規模をみると、総資産500億元未満の小規模銀行が3行(撫順銀、丹東銀、葫蘆島銀)、500億元以上1,000億元未満の中規模銀行が4行(鞍山銀、營口銀、阜新銀、遼陽銀)、1,000億元以上の大規模銀行が5行(盛京銀、大連銀、錦州銀、吉林銀、哈爾濱銀)となっている。12行中最大の盛京銀と最小の葫蘆島銀との差は12倍近くに達し、同じ都市商業銀行でも規模の格差は非常に大きい。1元を16円で換算すると、1,000億元は1兆6,000億円に相当し、資産規模1,000億元超の大規模銀行5行は日本の地域銀行の下位行以上³、うち2,000億元超の盛京銀、大連銀、吉林銀、哈爾濱銀の4行については、中位行

² 5年分の財務データを全て入手できたのは、盛京銀、大連銀、錦州銀、鞍山銀、遼陽銀、營口銀、阜新銀、吉林銀、哈爾濱銀の9行、一部のデータに欠落があるのが撫順銀、丹東銀、葫蘆島銀、鉄嶺銀、朝陽銀、龍江銀の6行、データを完全に入手できなかったのが本溪市商銀、盤錦市商銀と營口沿岸銀の3行である。

³ 日本における代表的な地域型金融機関の総称。具体的には、地方銀行協会加盟銀行と第二地方銀行協会加盟銀行の合計に、埼玉りそな銀を加えた業態を示す。2012年3月末現在の銀行数は107行である。

以上の資産規模を持つものと考えられる。大手コンサルティング会社KPMG Chinaが行った調査によると、域内最大の盛京銀の資産規模は同調査が対象とする都市商業銀行では第10位となっている。また同調査では、域内第2位の哈爾濱銀は第12位に、域内第3位の大連銀も第13位にランクインしており、東北地域の大規模銀行が全国の都市商業銀行の中でも上位に位置している（いずれも2011年末現在）⁴。

これら大規模銀行に共通していることは、都市商業銀行という地域型の金融機関でありながらも広域展開を志向して

いることである。例えば、哈爾濱銀や吉林銀は省内の地級市の他に瀋陽や大連にも分行を置いている。また、盛京銀や大連銀も、地元遼寧省の地級市に加えて、北京、天津、上海など域外の拠点都市にも分行を展開している。遼寧省の都市商業銀行では中規模銀行以下も広域展開を指向しており、省内の2大都市である瀋陽や大連に分行を置く銀行も多い。近年では、これら2都市に分行を展開する動きが小規模銀行にまで広がっており、本店所在エリアだけで店舗展開を行っているのは鞍山銀と撫順銀の2行に過ぎない(表2)。

表2 東北地域における都市商業銀行の概要（2012年末現在）

| 所在地 | 銀行名 | 設立経緯 | 分行所在地 | 総資産 |
|--------------|-------------|---|-------------------------------|---------|
| 遼寧省 瀋陽市 | 盛京銀行 | 97年瀋陽市の都市信用社33社が合併・銀行転換し、瀋陽都市合作銀行として設立。98年瀋陽市商業銀行に名称変更、07年現行名に改称。 | 大連・營口ほか省内5 北京・天津・上海・長春 | 313,204 |
| 遼寧省 大連市 | 大連銀行 | 98年大連市商業銀行として設立、07年現行名に改称。 | 瀋陽・營口・丹東 北京・天津・上海・重慶・成都 | 256,800 |
| 遼寧省 鞍山市 | 鞍山銀行 | 96年鞍山市都市信用連社が銀行転換し、鞍山市都市合作銀行として設立。98年鞍山市商業銀行に名称変更、10年現行名に改称。 | 分行なし | 57,357 |
| 遼寧省 撫順市 | 撫順銀行 | 97年撫順都市信用合作社連合社が銀行転換し、撫順都市合作銀行として設立。98年撫順市商業銀行に名称変更、11年現行名に改称。 | 分行なし | 28,333 |
| 遼寧省 本溪市 | 本溪市 商業銀行 | 10年本溪市都市信用社が銀行転換して設立。 | 詳細不明 | - |
| 遼寧省 丹東市 | 丹東銀行 | 97年丹東都市信用連社が銀行転換し、丹東都市合作銀行として設立。98年丹東都市商業銀行に名称変更、10年現行名に改称。 | 大連 | 29,705 |
| 遼寧省 錦州市 | 錦州銀行 | 97年錦州市都市信用社連合社が銀行転換し、錦州都市合作銀行として設立。98年錦州市商業銀行に名称変更、08年現行名に改称。 | 瀋陽・大連・撫順・丹東 北京・天津・哈爾濱 | 123,258 |
| 遼寧省 營口市 | 營口銀行 | 97年營口市商業銀行として設立、08年現行名に改称。 | 瀋陽・大連 哈爾濱 | 63,343 |
| 遼寧省 營口市 | 營口 沿海銀行 | 10年營口市の都市信用社4社が合併・銀行転換して設立。 | 分行なし | - |
| 遼寧省 阜新市 | 阜新銀行 | 97年設立の阜新市都市信用連合社が01年に銀行転換し、阜新市商業銀行として設立。09年現行名に改称。 | 瀋陽・大連 | 50,263 |
| 遼寧省 遼陽市 | 遼陽銀行 | 97年遼陽市都市信用連社が銀行転換し、遼陽都市合作銀行として設立。98年遼陽市商業銀行に名称変更、10年現行名に改称。 | 瀋陽・鞍山・葫蘆島 | 60,500 |
| 遼寧省 盤錦市 | 盤錦市 商業銀行 | 05年設立。 | 詳細不明 | - |
| 遼寧省 | 鉄嶺銀行 | 07年鉄嶺市都市信用社が銀行転換し、鉄嶺市商業銀行として設立。11年現行名に改称。 | 詳細不明 | - |
| 遼寧省 朝陽市 | 朝陽銀行 | 97年朝陽市商業銀行として設立、11年現行名に改称。 | 詳細不明 | - |
| 遼寧省 葫蘆島市 | 葫蘆島銀行 | 01年葫蘆島市商業銀行として設立、09年現行名に改称。 | 瀋陽 | 26,333 |
| 吉林省 長春市 | 吉林銀行 | 07年長春市商業銀行、吉林市商業銀行、遼源市都市信用社が合併して設立。 | 吉林・遼源ほか省内8 瀋陽・大連 | 220,757 |
| 黒龍江 哈爾濱市 | 哈爾濱銀行 | 97年哈爾濱都市合作銀行として設立、98年哈爾濱市商業銀行に名称変更、07年現行名に改称。 | 双鴨山・鶏西ほか省内6 天津・重慶・成都・瀋陽・大連 | 270,090 |
| 黒龍江省 哈爾濱市 | 龍江銀行 | 09年齊齊哈爾市商業銀行、大慶市商業銀行、牡丹江市商業銀行、七台河市都市信用社が合併して設立。 | 詳細不明 | - |

(注) 総資産の単位は百万元。盛京銀、錦州銀、遼陽銀、吉林銀、哈爾濱銀は連結ベース。その他の銀行は単体ベース。

分行所在地の上段は本店所在省内、下段は本店所在省外を示す。

(出所) 各行決算説明資料およびホームページ資料より作成

⁴ KPMG China, *Mainland China Banking Survey 2012* (<http://www.kpmg.com/CN/en/IssuesAndInsights/ArticlesPublications/Documents/Mainland-China-Banking-Survey-201209.pdf>) の巻末データより算出。なお、大型商業銀行や株式制銀行等を含めたランキングでは、全197行中で盛京銀が第35位、哈爾濱銀が第37位、大連銀が第38位、龍江銀が第43位、錦州銀が第55位であった。

Ⅲ 東北地域の都市商業銀行の実態

Ⅲ-1 株主構成・出資先の実態

広域展開を進める大規模銀行5行は株式公開の意向を示しており、都市商業銀行では南京銀、寧波銀、北京銀に次ぐ上場銀行となることで、地域型の金融機関から全国展開型の金融機関への脱皮を目指している。既に盛京銀、大連銀、錦州銀の3行が銀監委から株式公開の認可を得ており、後は中国証券監督管理委員会（証監委）の審査を待つばかりとなっている。しかし、需給悪化に伴う株価下落と上場企業の質の低下を懸念する証監委は2012年11月に新規公開に係る審査を一時凍結しており、本稿の執筆時点で3行の上場見通しは立っていない⁵。先にみたように、都市商業銀行はその設立の経緯から本店所在地の地方政府と密接な関係を有しており、現在も各行の主要株主には地方政府やその資産管理会社（投融資プラットフォーム）が名を連ねている。例えば、鞍山銀、丹東銀、錦州銀、葫蘆島銀では本店所在地の市財政局が筆頭株主となっており、盛京銀では瀋陽市の資産管理会社が、大連銀でも大連市の融資プラットフォームが筆頭株主となっている。確かに営口銀や吉林銀のように、海外の戦略投資家を筆頭株主とする銀行もあるものの、これらの銀行でも第2位株主以下には地域の有力企業や地方政府等が入っており、所有面での地域性は非常に強い（表3）。その一方で、複数の不動産開発業

者が主要株主に名を連ねる銀行もある。例えば、錦州銀では10大株主のうち5社が、大連銀でも3社が不動産開発業者となっており⁶、両行がこれら業者の「機関銀行」となることが懸念される。

また域内12行の出資状況をみると、各行とも他の金融機関に積極的に出資を行っている。2012年末現在、盛京銀は同じ遼寧省内の本溪市商業銀の株式を39.02%保有しており、丹東銀の株式も10.82%、阜新銀の株式も4.70%保有している。また哈爾濱銀は2011年に広東省で設立された広東華興銀の発行済み株式の16.00%を保有しており、戦略投資家としての役割を果たしている。域内都市商業銀行の株式保有は一時的な所有関係だけにとどまらず、大連銀と営口銀、阜新銀と葫蘆島銀のように株式を相互に持ち合う関係も見受けられる。ただし、近年では各行とも持合い株を増やしておらず、自己資本の充実を目的とした増資が繰り返される中で、株式の持合い関係は希薄化している。

域内の都市商業銀行に特徴的なことは、大規模銀行を中心に複数の村鎮銀行に出資を行っていることである。哈爾濱銀が出資する村鎮銀行は2012年末で24行となっており、全国でもトップクラスの水準にある。また吉林銀や盛京銀が出資する村鎮銀行も、それぞれ10行と6行を数える。都市商業銀行が広域展開を進めるためには、銀監委による支店開設の承認が必要となるが、資産規模の急拡大に伴う「質

表3 域内都市商業銀行の主要株主（2012年末時点）

| 銀行名 | 第1位株主 | | 第2位株主 | | 第3位株主 | |
|-------|--------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| | 株主名 | 持株比率 | 株主名 | 持株比率 | 株主名 | 持株比率 |
| 盛京銀行 | 瀋陽恒信国有資産経営集団 | 12.99% | 遼寧滙宝国際投資集団 | 10.82% | 方正証券 | 8.12% |
| 大連銀行 | 大連融達投資 | 18.35% | 大連一方集団 | 9.51% | 綿陽科技城産業投資基金 | 8.54% |
| 鞍山銀行 | 鞍山市財政局 | 27.72% | 鞍山市城市建设投資發展 | 25.60% | 宏運集団 | 17.60% |
| 撫順銀行 | 撫順新鋼鉄 | 9.78% | 海南東滙 | 7.50% | 北京華夏建龍磁業科技 | 7.33% |
| 丹東銀行 | 丹東市財政局 | 22.34% | 大連華信信託 | 15.69% | 遼寧曙光集団 | 13.48% |
| 錦州銀行 | 錦州市財政局 | 6.31% | 瀋陽冠伊房地產開發 | 4.87% | 青州泰和磁業 | 4.61% |
| 営口銀行 | CIMB（マレーシア） | 19.99% | 遼寧群益集団耐火材料 | 15.31% | 遼寧金鼎磁業集團 | 13.60% |
| 阜新銀行 | 遼寧益東工貿集団 | 9.65% | 遼寧海力薄膜電子 | 8.69% | 阜新德爾機械製造 | 6.81% |
| 遼陽銀行 | 遼寧程程塑料 | 17.87% | 遼陽城市資本経営 | 17.87% | 遼寧遼鞍工程機械 | 8.04% |
| 葫蘆島銀行 | 葫蘆島市財政局 | 16.74% | 大連機車商業城 | 9.76% | 葫蘆島市興達貿易 | 6.97% |
| 吉林銀行 | 韓亜銀行（韓国） | 16.98% | 長春市融興経済發展 | 11.86% | 吉林亜泰集団 | 9.08% |
| 哈爾濱銀行 | 哈爾濱經濟開發投資公司 | 29.33% | 哈爾濱科創興業投資 | 8.69% | 黒龍江科軟軟件科技 | 8.68% |

（出所）各行決算説明資料より作成

⁵ 2013年5月末、2012年度の業績が低迷した大連銀は新規株式公開を断念し、証監委に対して上場審査を取り下げた（「大連銀行申請終止IPO審査 去年净利僅1%増」『中国財經新聞原典』2013年6月3日 [http://www.21cbh.com/HTML/2013-6-3/zMNTg5XzY50DAzMW.html]）。

⁶ 錦州銀では、瀋陽冠伊房地產開發（第2位株主）、上海緑地弘途投資發展（第4位株主）、北京城建投資發展（第5位株主）、錦州大興房地産業開發（第6位株主）、遼寧凌雲裝飾裝修工程（第8位）が不動産開発業者と考えられる。また大連銀でも、大連一方集団（第2位株主）、大連新型企業集団（第9位株主）、哈爾濱毅騰房屋開發集団（第10位株主）が不動産開発業者と考えられる。

表4 域内都市商業銀行の出資状況 (2012年末時点)

| 銀行名 | 出資状況 |
|-------|---|
| 盛京銀行 | 丹東銀行 (10.82%)、阜新銀行 (4.70%)、本溪市商業銀行 (39.02%)、その他村鎮銀行 6 (遼寧省 4、上海市 1、江蘇省 1、出資比率20~40%)、証券会社 1 (0.03%) |
| 大連銀行 | 営口銀行 (1.84%)、その他村鎮銀行 3 (遼寧省 2、四川省 1、出資比率15~20%) |
| 鞍山銀行 | 村鎮銀行 4 (遼寧省 4、出資比率不明) |
| 撫順銀行 | 不明 |
| 丹東銀行 | 不明 |
| 錦州銀行 | 遼陽銀行 (2.23%)、その他村鎮銀行 3 (遼寧省 3、出資比率43.61~59.01%) |
| 営口銀行 | 大連銀行 (出資比率不明)、阜新銀行 (出資比率不明)、村鎮銀行 1 (遼寧省 1、出資比率20%) |
| 阜新銀行 | 錦州銀行 (0.79%)、葫蘆島銀行 (3.91%)、その他村鎮銀行 4 (遼寧省 4、出資比率20~30%) |
| 遼陽銀行 | 村鎮銀行 3 (遼寧省 3、出資比率不明) |
| 葫蘆島銀行 | 阜新銀行 (1.37%)、錦州銀行 (0.76%)、その他村鎮銀行 3 (遼寧省 3、出資比率21~40%) |
| 吉林銀行 | 村鎮銀行10 (吉林省 7、江蘇省 1、河北省 2、出資比率20~61.64%)、ファイナンスカンパニー (吉林省 2、出資比率34~100%) |
| 哈爾濱銀行 | 広東華興銀行 (16.00%)、村鎮銀行24 (黒龍江省 4、甘肅省 1、北京市 1、吉林省 1、広東省 1、重慶市 4、四川省 1、河北省 1、河南省 2、江西省 2、江蘇省 1、湖北省 2、湖南省 2、海南省 1、出資比率70~100%) |

(注) 都市商業銀行資金清算中心、中国銀聯への投資は含まず。

(出所) 各行決算説明資料より作成

の悪化」が懸念される中、2011年に入って当局が承認基準を厳格化したとされる⁷。その一方で、域内銀行による村鎮銀行の設立は2011年に急増しており⁸、村鎮銀行の設立は支店設置が難しくなる中で広域展開を進める手法のひとつとも考えられる (表4)。

Ⅲ-2 貸出金の実態

次に、域内都市商業銀行の貸出金の状況について検討しよう。2008年末から2012年末までの5年間のデータが入手可能な10行についてみると、各行とも2012年末の総貸出金残高が2008年末の2倍以上となっており、貸出金を大幅に積み増していることが分かる。バングラデシュのグラミン銀行を範としたマイクロクレジットに力を入れる哈爾濱銀を除けば、各行とも残高増の大半は法人等向けの貸出に負っている。個人向けの貸出についても、事業性資金と住宅ローンが牽引力となり、各行とも残高が大幅に増加している。しかし、法人等向け貸出と比較すれば絶対的な水準は低位にとどまっており、域内各行がリテールバンキングを本格的に展開するには至っていない。なお、総貸出金残高の増加については、2011年末以降伸び悩みの傾向が顕著となっており、2012年末には域内12行中6行で対前年末増

加率が4年間で最低を記録している。総じて大規模銀行ほど残高が伸び悩む傾向は強い (表5)。

域内12行のうち、盛京銀、錦州銀、阜新銀、葫蘆島銀、吉林銀、哈爾濱銀の6行では貸出金の地域別分布も確認できる⁹。これをみると、店舗展開の広域化に伴って、総貸出金残高に占めるホームマーケット向け (本店所在地域向け) 貸出金残高の比率は各行とも低下している。とりわけ錦州銀、阜新銀、哈爾濱銀の3行では、2008年末から2012年末の4年間でホームマーケット向けの貸出比率 (錦州銀では錦州向け貸出金残高比率、阜新銀では阜新向け貸出金残高比率、哈爾濱銀では黒龍江省向け貸出金残高比率) が大きく低下しており、この間、3行では貸出業務の広域化が急速に進んだことが分かる。また錦州銀と哈爾濱銀では2010年以降、吉林銀でも2011年以降はホームマーケット域外での残高増加額がホームマーケットでの増加額を上回っており、店舗展開の広域化に伴う貸出業務の広域化が総貸出金残高を積み増す上で重要な役割を果たしたことが理解できる (表6)。ちなみに、錦州銀と阜新銀のホームマーケットにおける貸出シェア (錦州銀では錦州地区貸出金残高全体に占める錦州銀のシェア、阜新銀では阜新地区貸出金残高全体に占める阜新銀のシェア) はそれぞれ37.0%、

⁷ 「中国銀行当局、都市商業銀行の支店開設承認基準を厳格化」『ウォール・ストリート・ジャーナル電子版』、2011年4月8日 (http://jp.wsj.com/public/page/0_0_WJPP_7000-218666.html?mg=inert-wsj)。

⁸ 例えば哈爾濱銀の場合、出資先村鎮銀行24行のうち13行が2011年に設立されており、吉林銀でも出資先村鎮銀行10行のうち9行が2011年に設立されている。

⁹ 2012年度決算から遼陽銀も貸出金の地域分布を公表しているが、手形割引については地域区分を行っておらず、他の6行と比較することは出来ない。

表5 域内都市商業銀行の総貸出金残高および増減率の推移

| 銀行名 | 総貸出金残高 | | | | | 法人等向け貸出金残高 | | 個人向け貸出金残高 | |
|-------|-------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|------------|---------|-----------|--------|
| | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 12/12 | 08/12比 | 12/12 | 08/12比 |
| 盛京銀行 | 49,524 - | 68,137 37.6 | 82,942 21.7 | 98,372 18.6 | 114,131 16.0 | 111,028 | 111,028 | 3,103 | 3,103 |
| 大連銀行 | 46,480 - | 58,708 26.3 | 72,651 23.8 | 86,113 18.5 | 101,400 17.8 | 88,945 | 88,945 | 12,455 | 12,455 |
| 鞍山銀行 | 12,035 - | 19,983 66.0 | 24,197 21.1 | 28,328 17.1 | 32,841 15.9 | 29,866 | 29,866 | 2,975 | 2,975 |
| 撫順銀行 | - - | 6,900 - | 8,411 21.9 | 9,806 16.6 | 11,821 20.5 | 10,251 | - | 1,570 | - |
| 丹東銀行 | - - | 6,802 - | 8,291 21.9 | 10,081 21.6 | 12,539 24.4 | 12,256 | - | 282 | - |
| 錦州銀行 | 20,336 - | 31,163 53.2 | 40,854 31.1 | 51,779 26.7 | 63,199 22.1 | 62,971 | 62,971 | 228 | 228 |
| 營口銀行 | 10,061 - | 14,612 45.2 | 18,824 28.8 | 23,564 25.2 | 28,343 20.3 | 27,682 | 27,682 | 661 | 661 |
| 阜新銀行 | 6,102 - | 7,474 22.5 | 11,007 47.3 | 14,871 35.1 | 20,098 35.1 | 18,577 | 18,577 | 1,521 | 1,521 |
| 遼陽銀行 | 11,550 - | 15,849 37.2 | 19,512 23.1 | 23,524 20.6 | 28,665 21.9 | 27,689 | 27,689 | 976 | 976 |
| 葫蘆島銀行 | 8,317 - | 9,172 10.3 | 10,845 18.2 | 12,843 18.4 | 15,024 17.0 | 14,771 | - | 254 | - |
| 吉林銀行 | 47,137 - | 64,055 35.9 | 79,204 23.6 | 95,123 20.1 | 111,504 17.2 | 101,513 | 101,513 | 9,991 | 9,991 |
| 哈爾濱銀行 | 33,654 - | 43,537 29.4 | 54,025 24.1 | 65,439 21.1 | 87,264 33.4 | 52,454 | 52,454 | 34,810 | 34,810 |

(注) 盛京銀 (12年度より連結)、錦州銀 (10年度より連結)、遼陽銀 (同)、吉林銀 (08年度より連結)、哈爾濱銀 (09年度より連結)

以外の7行は全期間とも単体ベース。単位は百万元。総貸出金残高の下段は対前年増減率で単位は%。

(出所) 各行決算説明資料より作成

表6 域内都市商業銀行6行の地域別貸出金の推移

| | 地域区分 | 08/12 | | | | | 09/12 | | | | | 10/12 | | | | | 11/12 | | | | | 12/12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 盛京銀行 | 残高 | 東北 | - | 63,322 | 68,792 | 82,245 | 95,666 | 葫蘆島 | - | - | - | 12,586 | 14,211 | 華北 | - | 4,815 | 14,150 | 15,382 | 16,877 | 瀋陽 | - | - | - | 257 | 813 | その他 | - | - | - | - | - | 合計 | - | 68,137 | 82,942 | 98,372 | 114,131 | | | | | | | | | |
| | | 構成比 | 東北 | - | 92.9 | 82.9 | 83.6 | 83.8 | 葫蘆島 | - | - | - | 98.0 | 94.6 | 華北 | - | 7.1 | 17.1 | 15.6 | 14.8 | 瀋陽 | - | - | - | 2.0 | 5.4 | その他 | - | - | - | - | - | 合計 | - | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | | | | | |
| | | | 増加額 | 東北 | - | - | 5,469 | 13,454 | 13,421 | 葫蘆島 | - | - | - | - | 1,625 | 華北 | - | - | 9,336 | 1,232 | 1,495 | 瀋陽 | - | - | - | - | 556 | その他 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | 843 | | | | | | | |
| | | | | その他 | - | - | - | 745 | 843 | 合計 | - | - | - | 100.0 | 100.0 | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | 合計 | | | | | | | |
| | 錦州銀行 | 残高 | 錦州 | 15,560 | 21,332 | 22,626 | 26,579 | 28,715 | 長春 | 23,238 | 33,965 | 34,375 | 39,424 | 42,869 | その他遼寧省 | 4,576 | 6,172 | 12,087 | 16,021 | 20,966 | その他吉林省 | 23,898 | 30,090 | 36,904 | 41,333 | 45,552 | 北京・天津 | 200 | 3,660 | 6,140 | 9,179 | 13,518 | 吉林省外 | - | - | 7,925 | 14,367 | 23,083 | 合計 | 20,336 | 31,163 | 40,854 | 51,779 | 63,199 | | |
| | | | 構成比 | 錦州 | 76.5 | 68.5 | 55.4 | 51.3 | 45.4 | 長春 | 49.3 | 53.0 | 43.4 | 41.4 | 38.4 | その他遼寧省 | 22.5 | 19.8 | 29.6 | 30.9 | 33.2 | その他吉林省 | 50.7 | 47.0 | 46.6 | 43.5 | 40.9 | 北京・天津 | 1.0 | 11.7 | 15.0 | 17.7 | 21.4 | 吉林省外 | - | - | 10.0 | 15.1 | 20.7 | 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| | | | | 増加額 | 錦州 | - | 5,771 | 1,295 | 3,953 | 2,135 | 長春 | - | 10,727 | 410 | 5,049 | 3,446 | その他遼寧省 | - | 1,596 | 5,915 | 3,934 | 4,945 | その他吉林省 | - | 6,192 | 6,814 | 4,429 | 4,220 | 北京・天津 | - | 3,460 | 2,481 | 3,038 | 4,339 | 吉林省外 | - | - | - | 6,442 | 8,716 | 合計 | - | - | - | - | - |
| | | | | | その他 | - | - | - | 745 | 843 | 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | 合計 | | | | | | |
| | | 阜新銀行 | 残高 | 阜新 | 6,102 | 7,475 | 9,947 | 11,703 | 14,421 | 黒龍江省 | 32,362 | 38,917 | 41,843 | 47,966 | 43,112 | 瀋陽 | - | - | 1,059 | 2,157 | 3,421 | その他東北 | 980 | 2,414 | 5,578 | 7,331 | 23,787 | 大連 | - | - | - | 1,011 | 2,256 | 東北外 | 312 | 2,207 | 6,603 | 10,142 | 20,365 | 合計 | 6,102 | 7,475 | 11,007 | 14,871 | 20,098 | |
| | | | | 構成比 | 阜新 | 100.0 | 100.0 | 90.4 | 78.7 | 71.8 | 黒龍江省 | 96.2 | 89.4 | 77.5 | 73.3 | 49.4 | 瀋陽 | - | - | 9.6 | 14.5 | 17.0 | その他東北 | 2.9 | 5.5 | 10.3 | 11.2 | 27.3 | 大連 | - | - | - | 6.8 | 11.2 | 東北外 | 0.9 | 5.1 | 12.2 | 15.5 | 23.3 | 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 増加額 | 阜新 | | | | - | 1,373 | 2,473 | 1,755 | 2,718 | 黒龍江省 | - | 6,555 | 2,927 | 6,122 | 4,854 | 瀋陽 | - | - | 1,059 | 1,097 | 1,264 | その他東北 | - | 1,434 | 3,165 | 1,752 | 16,457 | 大連 | - | - | - | 1,011 | 1,245 | 東北外 | - | 1,894 | 4,396 | 3,540 | 10,222 | 合計 | - | - | - | - | - | |
| | その他 | | | | - | - | - | - | - | 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | - | 合計 | - | - | - | - | 合計 | | | | | | | |

(注) 単体・連結の区分は表5に同じ。単位は百万元、%。

(出所) 各行決算説明資料より作成

26.9%と高く（2011年末現在）¹⁰、地域集中リスクの緩和というリスク管理上からの要請に加えて、ホームマーケットの成長余力の低下が両行の広域展開を駆り立てているものと推察される。

リレーションシップ貸出を行う地域型の金融機関が広域展開を行う場合、行内に蓄積された顧客情報に基づく融資判断が難しくなるため、貸出審査では慎重な対応が求められる。それゆえ、ホームマーケット域外での貸出金の急増はリスク管理の観点から決して望ましいことではないが、実際には各行とも進出先での貸出金を急増させている。したがって、貸出金のボリュームを増すために、進出先で優良先への低利貸出や高リスク先への貸出が行われた可能性もある。例えば、地域別の収益状況を域内で唯一開示している哈爾濱銀の場合、貸出業務の広域展開を加速させた2010年度以降、ホームマーケットである黒龍江省の総資産純金利収入比率が最も高くなっており、その他の地域は黒龍江省を大きく下回っている¹¹。このことは、貸出金のボリューム増のために、哈爾濱銀が進出先で低利貸出を行ったことを示唆している。

日本のバブル経済期に貸出金残高が急増し、バブル経済崩壊後にその多くが焦げ付いたのは、建設業、不動産業、金融・保険業の3業種であったが、2012年末時点における域内12行の業種別貸出金の状況を見ると、盛京銀、大連銀、鞍山銀、撫順銀、丹東銀の遼寧省5行で、これら3業種への貸出金が総貸出金残高の2割を上回っている。とりわけ盛京銀と丹東銀では上記3業種への貸出金が総貸出金残高の3割に達しており、バブル関連業種へのエクスポージャーは無視できない水準にある。

中国では、金融機関の貸出債権は正常、関注、次級、可疑、損失の5つに分類される。そして次級以下の債権が不良債権とされ、これらの合計を総貸出金残高で除したものが不良債権比率となる。本稿の執筆時点で不良債権に係るデータを入手できない吉林銀を除く11行の状況を見ると、2012年末の不良債権比率は最低の盛京銀で0.54%、最高の鞍山銀でも1.47%であり、盛京銀を含む8行でゼロ%となっている。また不良債権に対する貸倒引当金のカバー率

についても、11行全行が当局の最低基準である150%を上回っており、域内最低の鞍山銀でもカバー率は178%、最高の撫順銀では447%に達している。したがって、景気減速が懸念される今日においても、不良債権への対処が直ちに喫緊の課題となる可能性は低い¹²。ただし、2011年末には不良債権比率が域内最低であった营口銀と同じくゼロ%台にあった葫蘆島銀では、2012年末に不良債権比率が大幅に上昇しており、逆に貸倒引当金のカバー率が大きく低下している。2012年度には、これら2行以外にも大連銀、撫順銀、丹東銀、阜新銀、遼陽銀の遼寧省5行でカバー率が低下しており、2010年度のカバー率を確認できない鞍山銀と葫蘆島銀を除く10行全体でカバー率が上昇した2011年度とは異なる様相を呈している。さらに2012年末には、多くの銀行で不良債権の予備軍である関注債権が増加しており、これを含めない公表ベースでは不良債権比率が11行中9行で低下したものの、関注債権を含めたベースでは9行中5行で上昇している。それゆえ、2011年末まで続いてきた債権健全化の流れは2012年中に反転したものと推察され、2011年末以降総貸出金残高の伸びが大幅に鈍化していることと合わせて考えると、域内各行が貸出態度を慎重化させつつあることに間違いはないと思われる。したがって2013年以降は、ホームマーケット域外での貸出増加→当該市場での競争激化→高リスク貸出の増加→不良債権の急増→処理費用の急増→貸し渋り・貸し剥がしの発生という負のスパイラルが局所的に発生する可能性も否定できない（表7）。

IV 東北地域都市商業銀行の収益状況

IV-1 東北地域都市商業銀行の決算概要

中国では、銀行業の純利益は損益計算書上の営業利益（営業収益－営業費用）と営業外利益（営業外収益－営業外費用）の合計から法人所得税を差し引いて算出される。営業収益は純金利収入、純手数料収入、投資収益、保有有価証券の時価損益、その他収益の合計であり、営業費用は販売費・一般管理費と貸出金を含む保有金融資産の減損損失の合計となっている。前者から後者を差し引いた営業利益は

¹⁰ 各行の決算説明資料掲載データと遼寧省統計局編『遼寧統計年鑑2012』掲載データから算出。なお、撫順銀と丹東銀のホームマーケットでの貸出シェアも、それぞれ21.2%と17.4%となっており、小規模銀行であるにもかかわらず高い（2011年末時点）。

¹¹ 純金利収入〔受取利息－支払利息〕/期末域内総資産×100で算出。2010年度は全店平均が2.05%に対して、黒龍江省が2.29%、遼寧省が1.89%、天津地区が2.71%、四川地区が1.52%、重慶地区が0.11%、その他地区が0.50%であった。2011年度は全店平均が2.36%に対して、黒龍江省が2.76%、東北地区（除く黒龍江省）が2.55%、華北地区が2.04%、西南地区が0.97%、その他地区が2.33%であった。2012年度も同様の傾向が続いており、全店平均が2.47%に対して、黒龍江省が2.85%、東北地区（除く黒龍江省）が2.09%、華北地区が2.11%、西南地区が1.35%、その他地区が2.76%であった。

¹² 都市商業銀行が不良債権の切り離しのために、不良化した貸出金を理財商品のポートフォリオの一部として信託会社に売却しているとの報道もある（「城商行：成地方政府債買単仲介」『中金在線』2013年5月30日〔<http://big5.cnfol.com/big5/bank.cnfol.com/130530/136,1410,15216526,00.shtml>〕）。仮にこれが事実だとすれば、都市商業銀行が利益相反の観点から批判を受けることは免れない。

表7 域内都市商業銀行の貸出金業種別構成比と不良債権 (2012年末時点)

| | 主要業種への貸出金構成比 | | | | | | | 不良債権比率 | | 不良債権カバー率 | |
|-------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|--------------------|-------------------|
| | 製造業 | 建築業 | 卸売 小売業 | 不動産業 | リース他 | 金融業 | その他 | 公表 ベース | 含む 関注債権 | 公表 ベース | 含む 関注債権 |
| 盛京銀行 | 15.13 1.01 | 10.21 0.97 | 21.08 1.58 | 20.15 ▲ 0.51 | 8.05 ▲ 0.76 | - | 25.37 ▲ 2.28 | 0.54 ▲ 0.09 | 4.90 0.88 | 302.40 41.62 | 33.27 ▲ 7.45 |
| 大連銀行 | 15.41 0.52 | 8.02 ▲ 0.61 | 18.91 3.87 | 14.23 ▲ 2.09 | 6.52 ▲ 3.15 | - | 36.91 1.49 | 0.90 ▲ 0.08 | 6.14 ▲ 1.21 | 275.26 ▲ 16.88 | 40.44 1.53 |
| 鞍山銀行 | 37.73 ▲ 1.82 | 2.82 0.43 | 8.85 3.80 | 16.38 2.42 | 0.85 ▲ 1.24 | 2.87 ▲ 1.18 | 30.50 ▲ 2.41 | 0.93 ▲ 0.75 | - | 423.30 194.68 | - |
| 撫順銀行 | 19.40 0.97 | 14.27 3.86 | 21.05 1.91 | 6.78 ▲ 3.57 | 3.72 0.13 | - | 34.78 ▲ 3.31 | 0.57 ▲ 0.01 | 2.73 1.64 | 447.25 ▲ 63.80 | 93.81 ▲ 177.90 |
| 丹東銀行 | 23.19 ▲ 0.36 | 11.30 5.22 | 13.95 3.32 | 16.63 2.84 | 5.02 1.97 | 0.51 0.35 | 29.40 ▲ 13.35 | 0.64 ▲ 0.02 | - | 429.79 ▲ 27.38 | - |
| 錦州銀行 | 24.66 ▲ 1.23 | 3.97 1.44 | 28.37 8.35 | 9.52 1.76 | 6.06 ▲ 0.83 | 0.21 ▲ 0.23 | 27.21 ▲ 9.27 | 0.84 ▲ 0.06 | 5.47 0.58 | 265.94 26.29 | 41.01 ▲ 3.35 |
| 營口銀行 | 37.29 ▲ 0.80 | 8.77 ▲ 3.96 | 16.27 3.16 | 1.40 ▲ 0.85 | 3.69 ▲ 1.52 | - | 32.58 3.98 | 1.15 0.66 | 8.73 ▲ 2.21 | 178.29 ▲ 226.11 | 23.47 5.47 |
| 阜新銀行 | 27.21 ▲ 1.28 | 6.28 2.33 | 28.87 6.02 | 4.85 0.44 | 3.63 1.10 | 2.23 ▲ 5.26 | 26.93 ▲ 3.35 | 1.15 ▲ 0.15 | 6.17 1.56 | 245.52 ▲ 8.24 | 45.73 ▲ 25.75 |
| 遼陽銀行 | 36.65 ▲ 1.29 | - | 16.11 0.55 | 10.54 3.57 | - | 2.88 ▲ 1.28 | 33.81 ▲ 1.55 | 0.75 ▲ 0.02 | 4.85 ▲ 1.08 | 432.57 ▲ 2.10 | 67.08 10.32 |
| 葫蘆島銀行 | 20.47 ▲ 1.47 | 5.37 2.51 | 12.30 0.46 | 5.89 ▲ 1.19 | 3.66 0.21 | - | 52.30 ▲ 0.51 | 1.41 0.47 | 11.78 3.36 | 234.06 ▲ 164.66 | 28.03 ▲ 16.35 |
| 吉林銀行 | 21.28 2.35 | 11.57 ▲ 2.77 | 13.84 3.17 | 6.19 ▲ 0.78 | 7.99 2.53 | - | 39.12 ▲ 4.49 | - | - | - | - |
| 哈爾濱銀行 | 12.75 0.39 | 4.18 2.16 | 22.29 1.87 | 3.05 1.66 | 2.78 0.46 | 0.83 ▲ 1.76 | 54.11 ▲ 4.79 | 0.64 ▲ 0.01 | 1.30 ▲ 1.41 | 353.52 6.36 | 173.07 90.40 |

(注) 単体・連結の区分は表5と同じ。上段の単位は%、下段は2011年末との差で単位は% P。

(出所) 各行決算説明資料より作成

概ね日本の経常利益に相当する。なお、営業収益中の投資収益は保有有価証券の売却益と長期保有株式からの配当収入の合計であるが、投資勘定で保有する債券の利息収入を投資収益に計上する銀行も存在する¹³。また、営業外収益は固定資産の処分益や政府贈与等から構成され、営業外費用は固定資産の処分損等から構成される。前者から後者を差し引いた営業外利益は概ね日本の特別利益に等しい。

域内都市商業銀行の業績は、現時点では良好である。12行合算ベースの純利益は、2009年度の57.5億元から2010年度の85.4億元へ、2011年度には117.0億元にまで増加した。2012年度の純利益も151.9億元に増加しており、2009年度と比較すると3倍近い水準にある。高水準の増益が続いた結果、自己資本比率規制の強化を睨んだ増資が相次ぐ中でも、2011年度以降は各行とも10%以上の自己資本利益率(ROE)を記録しており、2012年度には盛京銀と丹東銀で

20%を超えている。ただし、12行合算ベースで見ると、増益率のピークは2010年度であり、2011年度以降は増益率が年々低下している。増益率の低下傾向は大規模銀行の盛京銀、大連銀、錦州銀でとりわけ強く、2012年度の増益率は大連銀と錦州銀で一桁台となっている。税引き前純利益を用いた総資産利益率(ROA)をみても、2012年度に4年間(撫順銀、丹東銀では3年間)の最高を記録したのは中・小規模銀行を中心とした4行(撫順銀、丹東銀、阜新銀、吉林銀)に過ぎず、遼寧省の大規模銀行3行と中規模銀行2行では2012年度のROAが2011年度を下回っている。とりわけ2012年度の大連銀のROAは非常に低く、域内12行で唯一ゼロパーセント台となっている。したがって、今後は遼寧省の大規模銀行3行を中心に、これまでのような利益の急拡大を望めない可能性が高い(表8)。

¹³ 投資収益に債券利息収入を計上する域内銀行は鞍山銀、遼陽銀、阜新銀、哈爾濱銀(2010年度まで)の4行である。なお、丹東銀と撫順銀については損益計算書の注記事項が開示されておらず、詳細は不明である。

表8 域内都市商業銀行の純利益・ROE・税引き前純利益ROAの推移

| 銀行名 | 純利益 | | | | | ROE | 税引き前純利益ROA | | | | |
|-------|------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2012 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
| 盛京銀行 | 1,724 - | 1,098 ▲ 36.3 | 1,919 74.8 | 2,605 35.7 | 3,498 34.3 | 23.69 0.99 | 1.86 - | 0.96 ▲ 0.90 | 1.16 0.21 | 1.48 0.31 | 1.43 ▲ 0.05 |
| 大連銀行 | 893 - | 951 6.6 | 1,316 38.3 | 1,723 30.9 | 1,750 1.6 | 16.24 ▲ 2.79 | 1.30 - | 1.01 ▲ 0.29 | 0.95 ▲ 0.05 | 1.16 0.20 | 0.88 ▲ 0.28 |
| 鞍山銀行 | 224 - | 513 129.1 | 513 0.1 | 580 13.0 | 650 12.1 | 13.39 0.37 | 1.29 - | 1.95 0.66 | 1.67 ▲ 0.28 | 1.53 ▲ 0.14 | 1.55 0.02 |
| 撫順銀行 | - - | 1 - | 170 31,400.0 | 269 58.1 | 454 68.8 | 18.51 7.48 | - - | 0.24 - | 1.27 1.03 | 1.76 0.49 | 2.12 0.36 |
| 丹東銀行 | - - | 94 - | 142 51.0 | 237 67.5 | 442 86.5 | 20.70 7.06 | - - | 1.00 - | 1.18 0.18 | 1.48 0.31 | 2.02 0.54 |
| 錦州銀行 | 271 - | 509 88.3 | 841 65.1 | 1,074 27.7 | 1,156 7.6 | 10.20 ▲ 0.82 | 1.09 - | 1.25 0.15 | 1.19 ▲ 0.06 | 1.33 0.14 | 1.23 ▲ 0.10 |
| 營口銀行 | 261 - | 362 38.7 | 456 25.9 | 972 113.0 | 871 ▲ 10.4 | 17.09 ▲ 4.95 | 2.14 - | 1.87 ▲ 0.27 | 1.45 ▲ 0.42 | 2.45 1.00 | 1.86 ▲ 0.58 |
| 阜新銀行 | 15 - | 81 432.2 | 126 56.7 | 281 122.3 | 468 66.6 | 10.98 ▲ 1.90 | 0.32 - | 0.72 0.40 | 0.81 0.09 | 1.04 0.23 | 1.26 0.23 |
| 遼陽銀行 | 124 - | 338 174.0 | 370 9.5 | 519 40.2 | 643 23.7 | 14.06 ▲ 0.02 | 0.98 - | 1.48 0.51 | 1.52 0.04 | 1.82 0.30 | 1.45 ▲ 0.37 |
| 葫蘆島銀行 | 53 - | 182 243.4 | 197 8.3 | 181 ▲ 8.4 | 227 25.5 | 13.15 1.69 | 0.77 - | 1.46 0.68 | 1.45 ▲ 0.00 | 1.12 ▲ 0.33 | 1.19 0.07 |
| 吉林銀行 | 532 - | 827 55.4 | 1,185 43.4 | 1,537 29.7 | 2,160 40.5 | 15.23 2.86 | 0.97 - | 0.92 ▲ 0.05 | 1.13 0.21 | 1.12 ▲ 0.01 | 1.28 0.16 |
| 哈爾濱銀行 | 856 - | 796 ▲ 7.1 | 1,307 64.4 | 1,725 31.9 | 2,871 66.4 | 16.95 1.99 | 1.78 - | 1.21 ▲ 0.57 | 1.37 0.16 | 1.15 ▲ 0.22 | 1.43 0.28 |

(注) 単体・連結の区分は表5と同じ。ROEは純利益/期末株主資本×100で算出。

税引き前純利益ROAは税引き前純利益/期末総資産×100で算出。

純利益の下段は対年度増減率、ROEと税引き前純利益ROAの下段は前年度との差を示す。

(出所) 各行決算説明資料より作成

IV-2 東北地域都市商業銀行の収益力

2012年度の税引き前純利益ROAが低下した5行の状況を詳しくみると、資産管理会社への不良債権売却で多額の営業外損失を計上した大連銀を除く4行で総資産営業利益率が低下しており¹⁴、特に中規模銀行の營口銀と遼陽銀では、その低下幅が非常に大きい。さらに、これら2行の総資産営業利益率の内訳をみると、粗利を稼ぐ能力を示す総資産営業利益率が大きく低下するとともに、営業収益率からの控除項目となる営業経費率、減損費用比率が揃って上昇している。つまり、これら2行では銀行の基礎的な収益力が大きく低下した上に、営業コスト、信用コスト双方でのコスト効率が低下したために、総資産営業利益率が大きく低下することになったのである。残りの盛京銀、大連銀、錦州銀の大規模銀行3行でも、基礎的な収益力の大幅低下という側面は上記2行と共通している。しかし、これら大規模銀行3行では営業コストと信用コストが低く抑えられたために、総資産営業利益率が低下した盛京銀や錦州銀でも、その落ち込みは小幅にとどまっている(表9)。

銀行の基礎的な収益力の低下や営業コストの増加という問題は、上記銀行に限られるものではない。2012年度の総

資産営業収益率は域内12行中7行で低下しており、上昇したのは撫順銀、丹東銀、葫蘆島銀の小規模銀行3行に阜新銀と哈爾濱銀を加えた5行に過ぎない。しかも撫順銀と葫蘆島銀では、総資産営業収益率の上昇以上に営業経費率が上昇しており、減損費用控除前の総資産営業利益率は低下している。2012年度には撫順銀と葫蘆島銀を含む域内8行で営業経費率が上昇しており、減損費用控除前の総資産営業利益率も2行を含めた9行で低下している。こうした状況の中で総資産営業利益率の低下が6行にとどまったのは、信用リスク管理の巧拙を示す減損費用比率が域内12行中8行で低下したためである。しかし、前節でもみたように、債権健全化の動きは2012年中に反転し、今後は不良債権の増加と信用コストの増加が懸念されている。そのため、来期以降は多くの銀行で減損費用比率が上昇するものと考えられ、総資産営業利益率や税引き前純利益ROAが低下する銀行は2012年度以上に増加するものと予想される。

そこで問題となるのは、銀行の基礎的な収益力を示す総資産営業収益率の低下が一時的な現象であるのか、あるいは構造的な現象であるのかということである。この点を明らかに

¹⁴ 2012年12月、大連銀は中国華融資産管理公司大連市分公司に星海灣開發建設管理中心およびその関連会社等向け債権(帳簿価額8.24億元)を売却し、2012年度決算で7.69億元の営業外損失を計上した。

表9 域内都市商業銀行の収益構造（期末総資産比）

| | | 営業収益 | | 営業経費 (▲) | | 減損控除前 営業利益 | | 減損費用 (▲) | | 営業利益 | | 営業外利益 | | 税引き前 純利益 | |
|-------|------|------|--------|----------|--------|---------------|--------|----------|--------|------|--------|--------|--------|-------------|--------|
| | | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) |
| 盛京銀行 | 2011 | 2.45 | ▲ 0.24 | 0.78 | ▲ 0.13 | 1.67 | ▲ 0.11 | 0.20 | ▲ 0.06 | 1.47 | ▲ 0.05 | 0.01 | ▲ 0.00 | 1.48 | ▲ 0.05 |
| | 2012 | 2.21 | | 0.65 | | 1.56 | | 0.14 | | 1.42 | | 0.00 | | 1.43 | |
| 大連銀行 | 2011 | 2.80 | ▲ 0.38 | 1.24 | ▲ 0.14 | 1.56 | ▲ 0.24 | 0.38 | ▲ 0.25 | 1.19 | 0.01 | ▲ 0.03 | ▲ 0.30 | 1.16 | ▲ 0.28 |
| | 2012 | 2.42 | | 1.09 | | 1.32 | | 0.12 | | 1.20 | | ▲ 0.32 | | 0.88 | |
| 鞍山銀行 | 2011 | 3.50 | ▲ 0.11 | 1.20 | ▲ 0.00 | 2.29 | ▲ 0.10 | 0.75 | ▲ 0.09 | 1.54 | ▲ 0.02 | ▲ 0.01 | 0.04 | 1.53 | 0.02 |
| | 2012 | 3.39 | | 1.20 | | 2.19 | | 0.66 | | 1.53 | | 0.02 | | 1.55 | |
| 撫順銀行 | 2011 | 4.59 | 0.34 | 3.12 | 0.50 | 1.47 | ▲ 0.16 | ▲ 0.04 | 0.16 | 1.51 | ▲ 0.32 | 0.25 | 0.69 | 1.76 | 0.36 |
| | 2012 | 4.93 | | 3.62 | | 1.31 | | 0.12 | | 1.19 | | 0.93 | | 2.12 | |
| 丹東銀行 | 2011 | 2.83 | 0.17 | 1.25 | 0.00 | 1.58 | 0.17 | 0.42 | ▲ 0.28 | 1.16 | 0.45 | 0.32 | 0.09 | 1.48 | 0.54 |
| | 2012 | 3.00 | | 1.25 | | 1.75 | | 0.14 | | 1.61 | | 0.40 | | 2.02 | |
| 錦州銀行 | 2011 | 3.05 | ▲ 0.25 | 1.44 | ▲ 0.08 | 1.62 | ▲ 0.16 | 0.29 | ▲ 0.05 | 1.33 | ▲ 0.12 | 0.01 | 0.01 | 1.33 | ▲ 0.10 |
| | 2012 | 2.81 | | 1.35 | | 1.45 | | 0.24 | | 1.21 | | 0.02 | | 1.23 | |
| 营口銀行 | 2011 | 3.77 | ▲ 0.32 | 1.30 | 0.09 | 2.47 | ▲ 0.41 | 0.14 | 0.07 | 2.33 | ▲ 0.48 | 0.11 | ▲ 0.11 | 2.45 | ▲ 0.58 |
| | 2012 | 3.45 | | 1.38 | | 2.07 | | 0.21 | | 1.86 | | 0.01 | | 1.86 | |
| 阜新銀行 | 2011 | 2.57 | 0.32 | 1.04 | 0.06 | 1.53 | 0.26 | 0.50 | 0.03 | 1.04 | 0.23 | ▲ 0.00 | ▲ 0.00 | 1.04 | 0.23 |
| | 2012 | 2.89 | | 1.10 | | 1.79 | | 0.53 | | 1.26 | | ▲ 0.00 | | 1.26 | |
| 遼陽銀行 | 2011 | 3.12 | ▲ 0.25 | 1.07 | 0.04 | 2.04 | ▲ 0.29 | 0.23 | 0.09 | 1.82 | ▲ 0.38 | 0.01 | 0.01 | 1.82 | ▲ 0.37 |
| | 2012 | 2.87 | | 1.11 | | 1.76 | | 0.32 | | 1.44 | | 0.02 | | 1.45 | |
| 葫芦島銀行 | 2011 | 2.90 | 0.00 | 1.55 | 0.06 | 1.34 | ▲ 0.05 | 0.25 | ▲ 0.13 | 1.09 | 0.08 | 0.03 | ▲ 0.01 | 1.12 | 0.07 |
| | 2012 | 2.90 | | 1.61 | | 1.29 | | 0.12 | | 1.17 | | 0.02 | | 1.19 | |
| 吉林銀行 | 2011 | 3.43 | ▲ 0.09 | 1.47 | 0.01 | 1.97 | ▲ 0.09 | 0.85 | ▲ 0.24 | 1.12 | 0.15 | 0.01 | 0.01 | 1.12 | 0.16 |
| | 2012 | 3.35 | | 1.48 | | 1.87 | | 0.61 | | 1.26 | | 0.02 | | 1.28 | |
| 哈爾濱銀行 | 2011 | 2.64 | 0.18 | 1.11 | 0.01 | 1.54 | 0.17 | 0.40 | ▲ 0.10 | 1.13 | 0.27 | 0.01 | 0.01 | 1.15 | 0.28 |
| | 2012 | 2.83 | | 1.12 | | 1.71 | | 0.31 | | 1.40 | | 0.03 | | 1.43 | |

(注) 単体・連結の区分は表5に同じ。撫順銀と丹東銀の営業外利益には投資収益を含む。

各項目の右列は2011年度と2012年度の差を示す。

(出所) 各行決算説明資料より作成

表10 域内都市商業銀行の営業収益（期末総資産比）

| | | 営業収益 | | 純金利収入 (粗利ザヤ) | | 受取利息 (運用利回り) | | 支払利息 (▲) (調達利回り) | | 非金利収益 | | 【参考】 貸出金利回り | | 【参考】 預金利回り | |
|-------|------|------|--------|-----------------|--------|-----------------|--------|---------------------|--------|-------|--------|----------------|-------|---------------|-------|
| | | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) | (%) | (% P) |
| | | 盛京銀行 | 2011 | 2.45 | ▲ 0.24 | 2.42 | ▲ 0.25 | 5.22 | ▲ 0.54 | 2.81 | ▲ 0.29 | 0.04 | 0.01 | 7.81 | 0.39 |
| | 2012 | 2.21 | | 2.17 | | 4.69 | | 2.52 | | 0.04 | | 8.19 | | 2.16 | |
| 大連銀行 | 2011 | 2.80 | ▲ 0.38 | 2.49 | ▲ 0.33 | 4.83 | ▲ 0.15 | 2.34 | 0.18 | 0.31 | ▲ 0.05 | 6.66 | 0.12 | 2.09 | 0.24 |
| | 2012 | 2.42 | | 2.16 | | 4.69 | | 2.52 | | 0.25 | | 6.78 | | 2.33 | |
| 鞍山銀行 | 2011 | 3.50 | ▲ 0.11 | 2.99 | ▲ 0.17 | 4.22 | 0.44 | 1.23 | 0.61 | 0.51 | 0.07 | 6.53 | 0.76 | 1.39 | 0.56 |
| | 2012 | 3.39 | | 2.82 | | 4.66 | | 1.84 | | 0.57 | | 7.28 | | 1.95 | |
| 撫順銀行 | 2011 | 4.59 | 0.34 | 2.76 | - | - | - | - | - | 1.83 | - | - | - | - | - |
| | 2012 | 4.93 | | - | | - | | - | | - | | - | | - | |
| 丹東銀行 | 2011 | 2.83 | 0.17 | 2.74 | 0.14 | - | - | - | - | 0.09 | 0.03 | - | - | - | - |
| | 2012 | 3.00 | | 2.89 | | - | | - | | 0.12 | | - | | - | |
| 錦州銀行 | 2011 | 3.05 | ▲ 0.25 | 2.98 | ▲ 0.34 | 4.76 | ▲ 0.12 | 1.78 | 0.23 | 0.07 | 0.10 | 6.39 | 0.31 | 1.83 | 0.13 |
| | 2012 | 2.81 | | 2.64 | | 4.64 | | 2.00 | | 0.17 | | 6.70 | | 1.96 | |
| 营口銀行 | 2011 | 3.77 | ▲ 0.32 | 3.47 | ▲ 0.43 | 4.84 | 1.20 | 1.38 | 1.63 | 0.30 | 0.11 | 8.13 | 0.33 | 1.50 | 0.26 |
| | 2012 | 3.45 | | 3.04 | | 6.04 | | 3.00 | | 0.41 | | 8.47 | | 1.76 | |
| 阜新銀行 | 2011 | 2.57 | 0.32 | 2.33 | ▲ 0.11 | 4.29 | 0.89 | 1.97 | 1.00 | 0.25 | 0.43 | 5.76 | 0.87 | 1.14 | 0.53 |
| | 2012 | 2.89 | | 2.22 | | 5.18 | | 2.97 | | 0.67 | | 6.64 | | 1.67 | |
| 遼陽銀行 | 2011 | 3.12 | ▲ 0.25 | 2.77 | ▲ 0.62 | 3.87 | ▲ 0.25 | 1.10 | 0.37 | 0.34 | 0.38 | 6.99 | 0.19 | 1.22 | 0.33 |
| | 2012 | 2.87 | | 2.15 | | 3.62 | | 1.47 | | 0.72 | | 7.18 | | 1.56 | |
| 葫芦島銀行 | 2011 | 2.90 | 0.00 | 2.59 | 0.15 | 5.77 | 0.98 | 3.18 | 0.84 | 0.31 | ▲ 0.14 | 6.08 | 0.77 | 1.73 | 0.32 |
| | 2012 | 2.90 | | 2.74 | | 6.75 | | 4.01 | | 0.16 | | 6.85 | | 2.05 | |
| 吉林銀行 | 2011 | 3.43 | ▲ 0.09 | 3.23 | ▲ 0.41 | 4.94 | ▲ 0.02 | 1.71 | 0.40 | 0.20 | 0.33 | 6.90 | 0.27 | 1.41 | 0.46 |
| | 2012 | 3.35 | | 2.82 | | 4.93 | | 2.11 | | 0.53 | | 7.16 | | 1.87 | |
| 哈爾濱銀行 | 2011 | 2.64 | 0.18 | 2.36 | 0.10 | 4.03 | 0.78 | 1.67 | 0.68 | 0.28 | 0.08 | 7.12 | 0.11 | 1.19 | 0.40 |
| | 2012 | 2.83 | | 2.47 | | 4.81 | | 2.35 | | 0.36 | | 7.24 | | 1.59 | |

(注) 単体・連結の区分は表5に同じ。貸出金利回りは貸出金利/貸倒引当金控除前期末貸出金残高×100で算出。

各項目の右列は2011年度と2012年度の差を示す。営業収益の丸数字は各年度の域内順位を示す。

(出所) 各行決算説明資料より作成

するために、営業収益を純金利収入と非金利収入に分けてみると、純手数料収入と投資収益等からなる非金利収入のウェイトが多くの銀行で高まっていることがわかる(表10)。非金

利収入のウェイトの高まりは収益源の多角化を意味しており、金利水準に左右されない収益構造を作るうえで望ましいことではある。しかし、2012年度の総資産非金利収入比率が高く、

かつ前年度と比較して上昇している銀行は、債券の利息収入を投資収益として計上する鞍山銀、阜新銀、遼陽銀であり、非金利収入といえども実際には金利収入を含んでいる。確かに、理財商品の販売等の増加で各行とも手数料収入の増加は進んでいるものの、営業収益の大半が純金利収入で構成されることには変わりはない。したがって、営業収益の今後の動向を占うためには、純金利収入の推移をみる必要がある。

純金利収入は受取利息から支払利息を差し引いて算出される。これら利息を把握できない撫順銀と丹東銀を除く域内10行の純金利収入を総資産対比でみると、2012年度には葫蘆島銀と哈爾濱銀を除く8行で減少している（総資金粗利ザヤが縮小）。総資金粗利ザヤが縮小したこれら8行のうち5行では受取利息が総資産比で減少しており（資金運用利回りが低下）、7行では支払利息が総資産対比で増加している（資金調達利回りが上昇）。前年度と比較して資金調達利回りが低下したのは盛京銀1行に過ぎず、その盛京銀も資金運用利回りの低下から総資金粗利ザヤ大きく低下している。また、2012年度に総資金粗利ザヤが上昇した葫蘆島銀と哈爾濱銀でも、資金調達利回りの上昇が粗利ザヤの拡大を抑える形となっており、2012年度には多くの域内銀行で資金調達利回りの上昇が粗利ザヤの水準を引き下げている。

2012年度に域内銀行で粗利ザヤが縮小した理由には、以下のふたつが考えられる。ひとつは金利自由化の進展である。2012年6月と7月には貸出金利と預金金利の変動幅が拡大され、貸出金利については下限が基準金利の0.7倍に引き下げられ、預金金利については上限が基準金利の1.1倍へと引き上げられた。これに伴い、貸出金利を下限まで引き下げ、預金金利を上限まで引き上げる動きが大型商業銀行を中心に広がっており、銀行間の金利競争を通じて域内銀行の利ザヤも縮小したというのである。実際、2012年度には域内10行中5行で資金運用利回りが低下し、9行で資金調達利回りが上昇していることから、金利自由化の進展が利ザヤの縮小を招いたという説はかなりの説得力を持つように思える。しかし、資金運用の中から貸出金だけを取り出してみると、利息の内訳を確認できない撫順銀と丹東銀を除く10行全行で2012年度の貸出金利回りが上昇しており、金利自由化の進展→貸出金利の低下圧力→貸出金利回りの低下という事態を確認することはできない。また資金調達についても、大規模銀行では資金調達利回りの上昇

が預金利回りの上昇を下回っており、金利自由化の進展だけで総資金粗利ザヤ縮小の理由を説明するのは難しい。

そこで考えられるふたつ目の理由は、銀行の資産・負債構造の変化である。まず12行の総資産の構成比をみると、2008年末から2012年末にかけて、多くの銀行で貸出金の比率が低下している。とりわけ、2012年度に資金運用利回りが大幅に低下した盛京銀や遼陽銀では、2011年末から2012年末にかけて貸出金比率が大きく低下している。一方で、2012年度に資金運用利回りが大幅に上昇した鞍山銀、營口銀、阜新銀、葫蘆島銀、哈爾濱銀の5行では、この間の貸出金比率に大きな変化はみられない。2012年度に資金運用利回りが大幅に低下した上記2行で急激に比率を上げたのが現金・預け金である。預け金は中国人民銀行に預託される無利息の準備預金と有利息の超過準備預金、民間銀行に預託される有利息の預金から構成されるが、2012年度に増加したのは有利息の部分である。しかし、各資産の利回りを比較すると、預け金、債券、貸出金の順で高くなっており¹⁵、高利回りの貸出金の比率低下と低利回りの現金・預け金の比率上昇は資金運用利回りの低下に直結する¹⁶。国家が銀行部門を強力に統制する中国では、他行から預け金を受け入れる規模の銀行が破綻する確率はきわめて低く、預け金が返済されないリスクは無きに等しい。また債券投資についても、投資債券の大半は政策性銀行が発行する金融債や中国国債であり、こちらも信用リスクは限りなく低い。したがって、総資産に占める貸出の割合を減らし、現金・預け金や債券の割合を増やした大・中規模銀行は、資金の域内還流を抑制しつつ、資産配分におけるリスク回避の動きを急速に強めたことになる（表11）。

資金運用利回りの低下が資産構造の変化と大きく関係しているように、資金調達利回りの上昇も負債構造の変化と大きく関係している。域内12行の負債・自己資本の構成比をみると、2012年度の資金調達利回りの上昇が緩やかな盛京銀、大連銀、錦州銀の3行では、負債・自己資本中に占める預金の比率が急速に低下しており、2012年末には3行すべてで預金比率が70%を大きく下回っている。とりわけ、2012年度に域内12行で唯一、資金調達利回りが低下した盛京銀では、2011年末から2012年末にかけての預金比率の低下が著しい。これら3行で預金に代わって急速に比率を上げたのがその他の部分であり、具体的には、他行からの預り金やコールマネー、売り現先等の市場性資金がこれに該

¹⁵ 例えば盛京銀の場合、2012年度の預け金（中央銀行預け金を除く）利回りは2.85%、債券利回りが4.32%であったのに対して、貸出金利回りは8.19%であった。

¹⁶ 貸出金比率が大幅に低下したにも関わらず、大連銀で資金運用利回りの落ち込みが軽微であったのは、相対的に高利回りの債券の比率が高まり、低利回りの現金・預け金の比率が低下したためと考えられる。また、錦州銀で貸出金の比率が大きく上昇したにもかかわらず資金運用利回りが低下したのは、債券の比率が低下し、現金・預け金の比率が上昇したためと考えられる。

表11 域内都市商業銀行の期末総資産の構成推移

| 資産項目 | 銀行名 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 銀行名 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 |
|--------|------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 総資産 | | 115,023 | 158,159 | 201,318 | 221,170 | 313,204 | | 17,365 | 26,190 | 43,176 | 53,660 | 63,343 |
| 現金・預け金 | 盛京銀行 | 21.0 | 24.9 | 21.7 | 29.1 | 37.0 | 營口銀行 | 23.8 | 25.9 | 15.4 | 29.1 | 34.2 |
| 貸出金 | | 41.9 | 42.4 | 40.6 | 43.8 | 35.8 | | 56.3 | 54.6 | 42.7 | 43.0 | 43.8 |
| 債券 | | 27.0 | 24.3 | 19.3 | 22.5 | 21.3 | | 0.8 | 7.6 | 3.0 | 2.5 | 8.8 |
| 総資産 | | 85,548 | 126,829 | 172,760 | 187,893 | 256,800 | | 10,878 | 14,192 | 22,340 | 36,165 | 50,263 |
| 現金・預け金 | 大連銀行 | 22.3 | 24.7 | 23.5 | 24.5 | 21.0 | 阜新銀行 | 31.9 | 29.0 | 30.0 | 38.8 | 39.1 |
| 貸出金 | | 52.5 | 45.2 | 41.0 | 44.5 | 38.5 | | 54.4 | 50.9 | 47.3 | 39.8 | 38.9 |
| 債券 | | 19.6 | 20.5 | 24.0 | 24.5 | 33.1 | | 7.8 | 14.1 | 7.5 | 10.6 | 12.5 |
| 総資産 | | 23,217 | 35,075 | 41,074 | 48,344 | 57,357 | | 18,841 | 25,261 | 32,866 | 44,480 | 60,500 |
| 現金・預け金 | 鞍山銀行 | 33.4 | 24.1 | 27.2 | 30.9 | 33.2 | 遼陽銀行 | 30.1 | 25.7 | 28.1 | 27.7 | 35.0 |
| 貸出金 | | 50.1 | 54.7 | 57.0 | 56.3 | 55.0 | | 58.7 | 60.4 | 57.2 | 51.1 | 45.8 |
| 債券 | | 5.8 | 15.9 | 6.0 | 6.2 | 6.6 | | 7.7 | 10.7 | 9.3 | 16.6 | 15.4 |
| 総資産 | | - | 11,791 | 17,892 | 20,412 | 28,333 | | 14,467 | 16,799 | 18,069 | 21,703 | 26,333 |
| 現金・預け金 | 撫順銀行 | - | 22.7 | 21.4 | 28.1 | 18.8 | 葫蘆島銀行 | - | - | - | 27.3 | 29.8 |
| 貸出金 | | - | 56.3 | 45.4 | 46.6 | 40.7 | | 54.5 | 52.0 | 57.5 | 57.0 | 55.2 |
| 債券 | | - | 11.5 | 7.4 | 11.9 | 25.5 | | - | - | - | 5.5 | 5.0 |
| 総資産 | | - | 11,645 | 17,172 | 22,899 | 29,705 | | 85,665 | 108,138 | 148,081 | 186,428 | 220,757 |
| 現金・預け金 | 丹東銀行 | - | - | 35.9 | 37.9 | 36.1 | 吉林銀行 | 18.1 | 15.8 | 16.5 | 21.3 | 23.0 |
| 貸出金 | | - | 57.2 | 47.0 | 42.7 | 41.0 | | 53.4 | 57.9 | 52.3 | 49.5 | 48.8 |
| 債券 | | - | - | 6.2 | 8.3 | 9.9 | | 11.6 | 16.7 | 12.3 | 14.2 | 14.5 |
| 総資産 | | 35,492 | 54,382 | 93,712 | 106,470 | 123,258 | | 63,302 | 84,606 | 125,825 | 203,622 | 270,090 |
| 現金・預け金 | 錦州銀行 | 20.8 | 18.5 | 15.7 | 22.6 | 25.5 | 哈爾濱銀行 | 18.0 | 23.8 | 26.1 | 22.8 | 25.5 |
| 貸出金 | | 55.6 | 56.0 | 42.7 | 47.6 | 50.1 | | 52.1 | 50.6 | 42.3 | 31.4 | 31.6 |
| 債券 | | 18.1 | 13.4 | 19.5 | 22.5 | 19.2 | | 10.8 | 11.5 | 14.5 | 17.7 | 18.9 |

(注) 単体・連結の区分は表5に同じ。期末総資産の単位は百万円。各資産項目の単位は%。

その他の項目を記載していないので、現金・預け金、貸出金、債券の比率を足しても100%にならない。

(出所) 各行決算説明資料より作成

表12 域内都市商業銀行の期末負債・自己資本の構成推移

| 資産項目 | 銀行名 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 | 銀行名 | 08/12 | 09/12 | 10/12 | 11/12 | 12/12 |
|---------|------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 負債・自己資本 | | 115,023 | 158,159 | 201,318 | 221,170 | 313,204 | | 17,365 | 26,190 | 43,176 | 53,660 | 63,343 |
| 預金 | 盛京銀行 | 70.7 | 63.9 | 65.8 | 77.5 | 66.4 | 營口銀行 | 88.5 | 87.6 | 86.3 | 84.5 | 83.2 |
| その他負債 | | 24.2 | 32.7 | 30.6 | 17.3 | 28.9 | | 4.1 | 3.5 | 7.2 | 7.3 | 8.7 |
| 自己資本 | | 5.1 | 3.3 | 3.5 | 5.2 | 4.7 | | 7.4 | 9.0 | 6.6 | 8.2 | 8.0 |
| 負債・自己資本 | | 85,548 | 126,829 | 172,760 | 187,893 | 256,800 | | 10,878 | 14,192 | 22,340 | 36,165 | 50,263 |
| 預金 | 大連銀行 | 82.4 | 81.7 | 80.3 | 72.5 | 67.7 | 阜新銀行 | 86.4 | 81.3 | 89.1 | 90.1 | 82.6 |
| その他負債 | | 11.4 | 13.4 | 15.5 | 22.6 | 28.1 | | 8.6 | 13.1 | 5.1 | 3.8 | 8.9 |
| 自己資本 | | 6.2 | 4.9 | 4.2 | 4.8 | 4.2 | | 5.1 | 5.6 | 5.8 | 6.0 | 8.5 |
| 負債・自己資本 | | 23,217 | 35,075 | 41,074 | 48,344 | 57,357 | | 18,841 | 25,261 | 32,866 | 44,480 | 60,500 |
| 預金 | 鞍山銀行 | 87.5 | 89.6 | 88.5 | 87.2 | 88.4 | 遼陽銀行 | 92.1 | 90.3 | 90.4 | 89.6 | 89.4 |
| その他負債 | | 3.2 | 1.6 | 1.7 | 3.6 | 3.2 | | 2.0 | 1.1 | 1.4 | 2.1 | 3.0 |
| 自己資本 | | 9.3 | 8.8 | 9.8 | 9.2 | 8.5 | | 5.9 | 8.6 | 8.2 | 8.3 | 7.6 |
| 負債・自己資本 | | - | 11,791 | 17,892 | 20,412 | 28,333 | | 14,467 | 16,799 | 18,069 | 21,703 | 26,333 |
| 預金 | 撫順銀行 | - | 88.2 | 85.4 | 80.0 | 72.8 | 葫蘆島銀行 | 82.9 | 83.4 | 89.0 | 88.0 | 90.4 |
| その他負債 | | - | 1.7 | 2.3 | 8.0 | 18.5 | | 10.4 | 9.8 | 3.1 | 4.8 | 3.1 |
| 自己資本 | | - | 10.1 | 12.2 | 11.9 | 8.7 | | 6.6 | 6.8 | 7.9 | 7.3 | 6.5 |
| 負債・自己資本 | | - | 11,645 | 17,172 | 22,899 | 29,705 | | 85,665 | 108,138 | 148,081 | 186,428 | 220,757 |
| 預金 | 丹東銀行 | - | 92.7 | 91.4 | 86.2 | 85.3 | 吉林銀行 | 81.7 | 79.7 | 78.8 | 74.3 | 72.5 |
| その他負債 | | - | 1.6 | 1.5 | 6.2 | 7.5 | | 10.3 | 13.1 | 14.0 | 19.1 | 21.0 |
| 自己資本 | | - | 5.6 | 7.1 | 7.6 | 7.2 | | 8.1 | 7.2 | 7.2 | 6.7 | 6.4 |
| 負債・自己資本 | | 35,492 | 54,382 | 93,712 | 106,470 | 123,258 | | 63,302 | 84,606 | 125,825 | 203,622 | 270,090 |
| 預金 | 錦州銀行 | 84.3 | 81.7 | 84.2 | 76.5 | 67.1 | 哈爾濱銀行 | 83.9 | 88.6 | 89.7 | 71.7 | 69.1 |
| その他負債 | | 9.5 | 9.0 | 6.6 | 14.3 | 23.7 | | 11.1 | 6.8 | 6.1 | 22.7 | 24.6 |
| 自己資本 | | 6.2 | 9.3 | 9.2 | 9.1 | 9.2 | | 5.0 | 4.6 | 4.2 | 5.7 | 6.3 |

(注) 単体・連結の区分は表5に同じ。負債・自己資本の単位は百万円。各項目の単位は%。

(出所) 各行決算説明資料より作成

当する。つまり、これら3行にとっては、資金調達における預金から市場性資金へのシフトが資金調達利回り全体の上昇を抑えることになったのである。これに対して、2012年度に資金調達利回りが大きく上昇した鞍山銀、營口銀、阜新銀、葫蘆島銀の4行では、資金調達で預金に大きく依

存する構図は変わっておらず、2012年末の預金比率は4行全てで80%を上回っている。これら4行のうち鞍山銀を除く3行では、2012年度の資金調達利回りが預金利回りを大きく上回っており、市場性資金の調達に何らかの懸念が存在したものと推察される(表12)。

V おわりに

本稿では東北地域の都市商業銀行の経営実態について検討を行ってきた。都市商業銀行は、不良債権問題で経営難に陥った都市信用社の再編手段として地方政府の肝いりで設立されたものであるが、いわゆる「弱者連合」に留まることなく、2010年度から11年度にかけては高い成長性・収益性と健全性を兼ね備えた、中国の銀行部門の優等生的存在となった。こうした「再生」に貢献したのが地方政府とのパイプの太さであった。都市商業銀行には地方政府自身や地方政府の資産管理会社为主要株主として参加しており、地方政府主導の開発プロジェクトに優先的に参加できる立場を得た。企業情報、とりわけ中小企業の財務情報の蓄積が乏しい中国においては、融資案件が何らかの形で国・地方政府のプロジェクトに関わる商流に結びついていることが決定的に重要である。地方政府とのパイプの太さは、単に融資案件を獲得するだけでなく、信用リスクを管理する上でも好都合であった。それゆえ、都市商業銀行の成長は地方政府が支えたといっても過言ではない。

しかし、地方政府との距離の近さが今後、都市商業銀行の経営にマイナスの影響を及ぼす可能性も否定できない。とりわけ東北地域のような地方部においては、公共部門の固定資本投資が経済成長の原動力になってきたが、この構造が不動産バブルの崩壊によって維持出来なくなる可能性もある。そうなれば、地域経済の低迷→税収の減少→地方政府による固定資本投資の減少→新規貸出の減少と既存貸出の不良化→利息収入の減少と不良債権処理負担の増加といった経路を経て、地域経済が都市商業銀行を道連れに沈みゆくことも考えられる。2012年末には域内2行で公表ベースの不良債権比率が急上昇し、域内6行で関注債権を

含む不良債権比率が上昇に転じたことから、2012年度にはその萌芽が現れたとみることもできよう。銀行の基礎的な収益力の低下と営業コストの増加が生じる中で、今後、信用コストも増加するとなれば、現状では高い収益性を誇る小規模銀行でも、収益面でかなりの影響が出ることは間違いない。

大規模銀行は、信用コストの増加時代に備えて、資産中に占める貸出金の割合を引き下げ、預け金や債券投資の割合を高めることで、「リスク回避姿勢」を鮮明にしている。しかし、その代償として低い総資産営業収益率を甘受する必要に迫られており、その中で他行に遜色ない総資産営業利益率を確保するために、低コスト経営を余儀なくされている。リレーシップ貸出は本来高収益・高コストの貸出手法であり、低コスト経営と両立することはできない。したがって、今後、大規模銀行は上位業態との貸出面での同質化がさらに進展することになる。また大規模銀行は、営業収益の大半を占める純金利収入を増やそうと、資金調達における預金への依存度を引き下げ、市場性資金への依存度を高めることで調達コストの低下を目指している。現段階ではこの対応は功を奏しているが、今後何らかのきっかけで短期金融市場が機能不全に陥ることになれば、サブプライム危機時に資金調達難に陥った欧米の金融機関と同じように、資金の安定調達に大きな支障をきたすことになる。地域性を脱ぎ去り、広域化・大規模化によって上位業態と同質化するのか、あるいはホームマーケットを深耕し、地域性を高めることで、規模は小さいながらも高い収益性を誇る銀行として生き残るのか。東北地域の都市商業銀行は今、大きな岐路に立っている。